

# ○「井手町で初の地区連絡会議」

(京都府綴喜郡井手町井手地区第1回地区連絡会議)

担い手への  
農地利用の  
集積・集約化

遊休農地の  
発生防止・  
解消

新規参入の  
促進

その他  
(農業委員会の  
体制強化等)

## 1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年9月10日(月)午前11時30～
- 場 所: 井手町立自然休養村管理センター
- 出席者: 委員12人  
事務局 菱本事務局長、坂井事務局担当
- 報告者: 今井 農業会議現地推進役



## 2 地区の特徴、状況、課題

- 本町の西側を木津川が南北に流れ、東側には山地が広がり、中央部にJRが南北に走っている。
- 農地は木津川とJRに挟まれた平坦部に広がり、米を中心に、筍、茶が栽培されている。



## 3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 相続できていない農地で遊休化していることが多く、草刈りの指導をしても言うことをきかない。
- 町独自の草刈り条例をつくれないうか。
- 「農地は自分で守ることが基本です。」という意識の啓発を行っていこう。
- 10年後には農地の守りをする者がいなくなる。
- 農地を集約化しないと、借りる者もない。
- ほ場整備をしないと担い手もできない。次回は中間管理機構の農家負担がないほ場整備事業を勉強しよう。
- 委員からは前向きな意見が出され、井手地区の課題が見えてきた。また多賀地区連絡会議も実施された。

## 4 活動結果

- 情報・意見交換 1 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援